

(別紙様式1) **令和7年度 学校評価(自己評価)及び学校関係者評価報告**

学校名〔京丹後市立高龍小学校 〕

学校経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題		本年度学校経営の重点(短期経営目標)	
「意欲的に生活・学習に取り組む子どもの育成」 (久美浜学園重点目標) ◇めざす学校像◇ 【児童にとって】生き生き活動する学校 【教職員にとって】 自分の力を十分に発揮する学校 【保護者にとって】 安心して子どもを任せられる学校 【地域の方にとって】 他の地域の方に誇れる地域とともにある学校		◇外部講師を活用することで、単元構想を重視した指導計画を立てる実践が定着しつつある。 ◇不登校支援は、丁寧な連携と組織的な対応が定着し、保護者との信頼関係のもと推進することができた。(成果としては一進一退) ◇土砂災害や、熊対策、猛暑対応、道路工事対応等、校内連携の上で迅速に対応をすることができた。 △きまり・ルールの中で動くことが多く、「自分達で生み出しやってみる」といった経験はあまりできなかった。 △必然性のある場面設定や他者との関わり合いの中でよりよい人間関係の構築が必要である。		子ども一人ひとりが安心・安全に学校生活を送る中で、他者となつがり様々なことにチャレンジすることを意識して学校経営を行う ①「チャレンジ」×「コミュニケーション」を合言葉に、教育実践をブラッシュアップしていく。 ②一人ひとりが周囲に気付く力を磨き、みんなが安心して気持ちよく働ける職場にする。(対話・コミュニケーションの充実) ③互いに寄り添い補い合える学校組織力を高める。 ④多様性を認め、自分にはないことは尊敬する。(他者理解・思いやりの心) ⑤教職員の協働する姿、保護者・地域と連携する姿を通して、学校全体の包み込まれている空間を創造する。	
評価項目	重点目標	具体的方策		成果と課題(自己評価)	学校関係者評価
学校教育指導の重点、 保幼小中一貫教育の諸計画及び各学園の重点等を基	①基礎学力の定着に向けた授業・取組の充実・改善 ②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ③学びに向かう力・人間性を育てる指導の充実 ④教科・領域を往還するスパイラル型の学習の充実	◇研究推進部、学力充実部を中心に、基礎学力の定着に向けた授業改善や指導改善を目指す。(チャレンジタイムの運用) ◇授業の基本は単元設計力。見通しをもった指導、ねらいのある活動、継続した学びの中で基礎基本の力の定着を目指す。 ◇「考えさせる」指導をし、自分なりの言葉で表現する力(書く・話す等)を育てる。 ◇個別最適な学びと一斉授業での学びを、児童実態に応じてバランスよく位置づけ、児童にとって分かりやすい授業を目指す。 ◇個に応じた指導・学力補習体制を整備し、基礎・基本の定着を図る。 ◇「対話」「協働」することで学習に深まりをつくり、主体的に学びに向かう意欲を育てる。学習したことを活かして広げる。 ◇地域や保護者を巻き込んだ探究的な学びの場面を設定し、思考を深める体験を重視する。		【授業改善】 ○校内研修を通して、単元設計をしながらか指導の充実を目指すことができた。 ○チャレンジタイムを活用し、漢字や計算、読書に集中的に取り組む機会を設定した。 【指導の充実】 △「対話」「協働」する学習集団を目指し、じっくり考え、思いや考えをアウトプットする場面を意図的に仕組む必要がある。 △パソコンを活用したデジタルな学びとアナログな学びのバランスを見極めて指導を充実していく必要がある。 【対話・協働する学び】 ○子ども同士が対話する場面を大切にするため、年間を通して「聞くこと」「話すこと」にこだわり指導を展開した。	○チャレンジタイム(ドリルタイム)を帯時間でとり、継続的に1つのことに取り組む形は効果的だと思う。 ・授業参観では、子ども達が落ち着いて学習に向かう姿が見られた。日々、丁寧な指導をしていただいている。 ・パソコンでの学習が主流になることで、「漢字が書けない」といった児童が出るのではないかと。 ・授業の内容も量も、教えるだけでも相当なものだが、さらに学力を定着させようとする学校の姿勢は素晴らしい。 ・今は、学びに向かう力が求められているが、自分で学習をすることは、大変難しいことだと思う。 ・充実した学びを進めるためにも、こども園での経験や育ちの土台を大事にして欲しい。園小での連携を大切にしていることを継続していただきたい。

生徒指導	<p>①生徒指導の4機能を生かした指導の充実</p> <p>②子どもたちをつなぐ、「心理的安全性」のある学級の確立</p> <p>③個のニーズに対応する指導・支援の充実</p>	<p>◇教師が児童の良さを、また児童同士がお互いの良さを認めることで、自己肯定感を高め、自分の長所を伸ばそうとする態度を促進する。</p> <p>◇伝え合う活動を積極的に取り入れ、互いを思いやる心を育成する。</p> <p>◇児童の声に耳を傾け、児童間トラブルには複数で対応。迅速かつ丁寧な対応・指導を心掛ける。(報告・連携・相談・事象の共有)</p> <p>◇学校生活で支援を必要とする児童に対して、ニーズに応じた支援を行う。(組織対応・保護者連携)</p> <p>◇学級集団としてのアセスメント、個別のアセスメントを充実させ、全教職員が教育活動全般において支援できる体制を整える。</p>	<p>【心理的安全性のある学級づくり】</p> <p>○「人権月間」の取組を通し、互いの良さを認め、大切にすることを目指した。</p> <p>○子ども(保護者)の声を聞くことを大切にした学級づくりを進めることに努めた。</p> <p>【個のニーズに対応する指導】</p> <p>○支援を必要とする児童に対して、その思いに寄り添い組織対応を心掛けた。</p> <p>○特別支援教育充実に向けた校内研修を位置づけ、全教職員があらゆる場面で支援のできる体制を整えた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達は「認められたい」気持ちをもっている。自己肯定感を高めるためにも、日頃から子ども達との信頼関係を大事にして欲しい。 授業が落ち着いてできていることから、支援の必要な子どもに目が向けられていることや、事象の対応を丁寧に行っていることが窺える。今後も大事にして欲しい。
健康・安全	体力向上と生活習慣改善の指導の充実	◇体育の授業や行事と連動し、期間を取り決めて集中的にマラソンや縄跳び等の取組を行ったり、児童への指導・保護者啓発を進めたりすることで、最後まで粘り強く取り組む意欲を高める。	<p>【体力向上。生活習慣改善指導】</p> <p>○「食に関する指導」「歯磨き指導」を始め、保健行事に絡めて生活改善に向けた指導を通年で行うことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> バス通学が増えていることで、体力格差が生まれていないだろうか。
(A)特色のある学校づくり	<p>①地域資源を生かした教育活動の推進の中で、地域に愛着がもてる指導を充実</p> <p>②異年齢活動の充実を通じた、よりよい人間関係の構築</p>	<p>◇地域人材を整理し、総合的な学習に時間や生活科を通して探究的な学びを推進する。</p> <p>◇全ての教育活動の基盤として、安心して学ぶ学級となる人間関係づくりのスキルを発達段階に応じた手法で身に付ける。</p>	<p>【地域資源を生かした学習】</p> <p>○総合的な学習の時間を中心に、地域・保護者・市役所等と連携をしながら、探究的な学びを推進した。</p> <p>○外部連携を積極的に行うことで、教職員の視野も広げた指導を展開することができた。</p> <p>【異年齢活動】</p> <p>○異年齢掃除を始め、他学年と関わり合いながら活動を進める場面を仕組んだ。</p> <p>○異年齢で活動をする中で、他者理解につながる優しい行動が見られるようになっていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先生方で目標を一致させて学校経営を行っていることが窺える。子ども達への指導「聞く」「話す」「友達を大切に」視点を定着してほしい。 教職員が互いに考えを伝え合い教育活動を推進していることが素晴らしい。 コウノトリを扱えるのは、この学校ならではの、これからも楽しみにしている。
(B)開かれた学校づくり	保幼小中一貫教育の推進によるPTA・保護者会、地域の関係機関、こども園、保育所、中学校等との取組連携を強化。	<p>◇保幼小中一貫教育の目的を共有した教育を推進する。</p> <p>◇丁寧に分かりやすい情報発信と学校公開を進め、家庭・地域・関係機関等と連携を図る。</p> <p>◇本校PTAや学園学校運営協議会との連携を通して、保護者や地域と一体となった取組を計画的に実施する。</p>	<p>【学園連携】</p> <p>○学園研修等を通し、子どもの様子を共有した教育活動を展開することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保幼小中がつながることが、充実した学校につながっている。こども園や保育所の保育を受け止め、学びに繋げて欲しい。

<p>次年度に向けた改善の方向性</p>	<p>【学校として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「チャレンジ」「コミュニケーション」を合言葉に、学校教育全般において、体験活動や他者との関わり合いを重視した学校教育を進める。 ◇目指す学校像にあるような、子ども達が登校を待ち望む学校となるよう、学校全体の包み込まれている空間の創造を目指す。 ◇学力向上に向けた授業改善について、引き続き校内研修等の機会を使い教職員が学び続ける環境を整えていく。 ◇教育動向にも目を向けながら、目の前の児童に必要な指導支援について追究できる職場にしていく。 ◇地域にある資源を生かした体験活動や探究活動を充実させ、地域とともに歩む学校を目指す。 <p>【学習指導・教育課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇異年齢活動を中心とした特別活動の充実を図り、認め合い高め合える人間関係の構築を目指す。 ◇デジタル学習とアナログ学習のバランスを図りながら、「社会を生き抜く力」の育成に向けた学習環境を整える。 <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇個に寄り添いながら、自己肯定感を高める指導支援の充実を目指し、児童が自己のよさに気づき伸ばそうとする態度を促進する。 ◇心理的安全性のある学校・学級づくりを目指す。 <p>【特色のある学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇引き続き、地域資源を活用し地域連携を充実させることで、地域に愛着が持てる教育活動を推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に学校づくりをしていることが十分伝わってきた。
----------------------	--	--